

第50回EST脱炭素交通創発セミナー 交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから

趣旨説明

主 催：EST普及推進委員会、
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援：国土交通省、環境省



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

ESTとは

- **E**nvironmentally **S**ustainable **T**ransport (環境的に持続可能な交通)の略称
- 1990年代後半にOECDにおいて提案された概念
- **経済的な持続可能性**(安全・便利・快適な交通サービスが最も効率的にかつ安定的に提供されること)と
社会的な持続可能性(社会参加に必要な一定水準の交通サービスがどこに住んでいようともすべての人々に確保されていること)
に加え、脱炭素化を含む**環境的な持続可能性**も考慮
- 現在のSDGsにも通じる考え方

EST普及推進委員会とは



- わが国でも学識経験者、関係団体、関係省庁等からなるEST普及推進委員会が普及活動を展開
- EST推進のために、自治体が**交通・環境政策**やそれに関連する**都市・福祉などの政策**を、ESTのコンセプトを踏まえ長期的視野に立って策定・実施することを促すために、「**地域で交通環境対策を実践している団体（自治体、企業、市民団体等）の優れた取組み事例を発掘し、広く紹介する**」ことが重要と考え、2009年度に創設した「**EST交通環境大賞**」を第15回まで続けてきた。
- フォーラムで表彰式を実施するとともに、その受賞地域にてセミナーや人材養成研修会を開催してきた。

EST事業のリニューアル



- 気候変動対策として2050年カーボンニュートラルを目指すわが国では、脱炭素を目指した経済社会システムの変革（GX）が推進されているが、交通分野に着目すると、脱炭素化の視点は不足しているのが現状である。
- **交通分野の脱炭素化を推し進めるため**、EST普及推進委員会で行ってきた事業を、以下の通り**名称変更**する。
 - 「EST交通環境大賞」 → 「EST脱炭素交通大賞」
 - 「EST普及推進フォーラム」 → 「EST脱炭素交通普及推進フォーラム」
 - 「EST創発セミナー」 → 「EST脱炭素交通創発セミナー」
 - 「地域の交通環境対策推進者養成研修会」 → 「EST脱炭素交通現地研修会」

本セミナーの趣旨

- 過去18年間に49回にわたり全国41都市で開催してきた「EST創発セミナー」を「EST脱炭素交通創発セミナー」と名称変更
- 過去にEST交通環境大賞を受賞した団体のその後の取組みを紹介いただくことで、応募・受賞の意義について考え、**交通分野の脱炭素化を推し進めるための契機**とする。**総合的に取り組むEST**
 - 第4回EST交通環境大賞 大賞(国土交通大臣賞)受賞 岐阜市
受賞当時(2013年):バスで『ひとも元気、まちも元気』～岐阜市総合交通戦略～
 - 第4回EST交通環境大賞 優秀賞受賞 福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会
BEST運動：継続させるEST
受賞当時(2013年):備後のCO₂削減『ベスト運動』を核とした発展的なモビリティ・マネジメント施策の展開
 - 第5回EST交通環境大賞 優秀賞受賞 日立市
新技術をとりいれるEST
受賞当時(2014年):誕生「ひたちBRT」～新しいまちづくりへの第一歩～

最新情報はESTメールマガジンで配信

ESTの普及を図るため、EST普及推進委員会事務局では、毎月『ESTメールマガジン』を発行し、寄稿、交通と環境に関連したニュース・トピック、イベント情報などを掲載しています。

詳しくは、「**EST交通**」で検索してください。

ESTポータルサイト
検索方法



ESTメールマガジン
QRコード

